

よこ
横のキーワード解説

3 木の内装は、断熱効果や抗菌・消臭作用があったり、湿度を一定に保つなど、いろんなメリットがあって、賢い選択の一つと言われています。

6 宮妻峡には、市営の宮妻峡ヒュッテという施設があり、宿泊ができます。



アイナシの花

9 イヌナシは「梨」の原始的な性質を持った種で、アイナシはイヌナシと栽培ナシの中間の種。四日市の小学校教諭が発見し、植物学者の牧野富太郎によって、新種とされ命名されました。



オオスズメバチ※

10 ハチを避けようと手を振ると、反対に刺されることも。見つけたら静かに離れましょう。

12 落葉樹の葉っぱでできた腐葉土はフカフカでよく水を吸収してくれます。

1cmできるのに 100年かかるとも言われています。

14 サツキはツツジの1種で、丈夫なことから街路樹や公園によく植えられています。



トウカイコモウセンゴケの花※

15 御池沼沢のトウカイコモウセンゴケは初夏に小さな花を咲かせます。他にも食虫植物や珍しい植物が見られます。

16 森の中を歩くときは、風などで枯れ枝が落ちてくることもあるため、ヘルメットがあると安心。



イグサ

18 鎌倉・室町時代、四日市ではイグサを栽培してむしろを作っていたようです。

19 四日市には森林組合がなく、林業従事者もわずか。市内の森の整備はボランティア団体が多くを担っていますが、高齢化が深刻で次世代の担い手が求められています。

21 段ボールのそりで、落ち葉の坂で遊んでみよう!

22 菌類のこを分解者ともいい、枯れた植物を他の生き物が使いやすい形にしてくれる自然界のお掃除役。

森・植物のクロスワード

～解答編～

1	カ		2	ハ		3	カ	4	シ	5	コ	イ
6	ミ	7	ヤ	8	ツ	マ	キ	ヨ	ウ			
9	ナ	シ			キ			10	ウ	ゴ		
	リ		11	ゼ			12	フ	ヨ	ウ	13	ド
		14	サ	ツ			15	モ	ウ	セ	ン	
16	ヘ	ル	メ	ツ		17	ト			18	イ	グ
	ク		19	ツ	ギ			20	ホ			リ
21	ソ	リ			22	キ	ン	ル	イ			

正解のキーワードは?

A	B	C	D			
さ	と	や	ま			
E	F	G	H	I	J	K
ほ	ぜ	ん	か	つ	ど	う

竹が増え過ぎたり、成長し過ぎた木が混みあうなど、管理ができていない里山が増えています。

だから、災害防止や人が憩える場所作りとして、木を間引きする間伐などを行う里山保全活動はとっても大事なんだよ。



※写真提供: 四日市自然保護推進委員会

たて
縦のキーワード解説

1 雷鳴や黒い雲が近づいてきたら、建物内に避難しよう。

2 垂坂公園・羽津山緑地では、NPO 法人緑の会羽津が除草など維持管理として活躍しています。

3 カキの葉にはポリフェノールやビタミン C が含まれていて、健康にも良いそう。

4 照葉樹の1種でもあるクスノキ。四日市で一番大きなクスノキは樹齢約800年。

5 植物の光合成によって地球の二酸化炭素と酸素のバランスは上手に保たれてきましたが、森林の減少や二酸化炭素排出量が増え、近年地球温暖化が進んでいます。

7 油をとるために熱帯雨林を切り開き、アブラヤシだけの森が作られていることが近年問題に。持続可能な形でとられたヤシ油の商品には RSPO マークが付いています。

8 スギなど燃えやすい木、クヌギなど燃えにくいけど火が長持ちする木があります。

11 市内で里山保全活動を行ったところ、準絶滅危種のササユリが増えたことも。

12 鈴鹿山脈のふもとは、茶畑が広がっています。

13 コナラやマテバシイ、アベマキ、クヌギなど様々なドングリを四日市では拾うことができます。

14 日本固有種のニホンザル。雑食でクリも食べます。

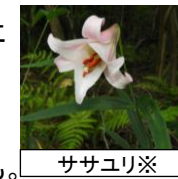
16 葉や茎を潰すと臭いことが名前の由来。秋に付ける茶色の実、ジョウビタキなどの鳥が食べるし、飾りにもオススメ。

17 病気に弱い木を病気に強い木に接いだり、おいしい果実を早く育てるために使われます。

20 スギ林1haが1年間に吸収する二酸化炭素は、約8.8t。植林は温暖化対策に有効ということで、カーボンオフセットとして行われることも。



1番大きな
神明社の大樟



ササユリ※



コナラ※ クヌギ※



クリ※



ヘクソカズラの実※